令和7年度　　年 間 授 業 計 画

東京都立大泉高等学校附属中学校

教科名	技術・家庭　家庭	対象学年	2年	週時数	1
使用教科書	「開隆堂」技術・家庭　家庭分野	教科担当	技術・家庭　家庭科　宮武　紀加		
副教材	「新学社」技術・家庭ノート				

授　業　計　画

授業の目標	年間	＊生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と家庭とのかかわりあいについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

主な学習内容

学期	月	単 元	学 習 内 容	配当時間	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	学 習 の 到 達 目 標
1学期	4・5・6・7	ガイダンス	・家庭科について ・安全について	1				・一年間に学習する内容を理解する
		B　衣食住の生活	・住まいのはたらき ・健康で安全な住まい	12	○	○	○	・住まいに必要な空間とその役割がわかる。 ・家族によって住まい方がちがうことがわかる。 ・家族の生活行為と住まいの空間のかかわりがわかる。 ・健康に配慮した住まい方を考え工夫することができる。 ・家庭内の事故の種類とその原因がわかる。 ・災害への備えや住まいや地域における工夫を考えることができる。 ・安全で快適な住まい方について考えることができる。 ・住まい方が地域に及ぼす影響が分かり、住まい方を工夫できる。 ・自分の理想の間取りを考えることができる。
2学期	9・10・11・12		・日常着の活用 ・日常着の手入れ ・布を用いたものの製作	15	○	○	○	・目的に合った衣服を選び自分らしい着方を工夫することができる。 ・衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ・目的に合った服装について考える。 ・洋服と和服の構成のちがいや和服の着方を知る。 ・衣服の正しい表示の見方や選択のしかたがわかる。 ・衣服の状態に合わせた、手入れの必要性がわかる。 ・衣服の状態に合わせた、適切な手入れができる。 ・衣服の素材に適した手入れが分かる。 ・取扱い表示の意味を理解し、適切な手入れの方法を選択できる。 ・衣服の素材に合った洗剤を選び、適切な量を使用できる。 ・アイロン温度を適切に設定し、安全に使うことができる。 ・自分や家族の生活を豊かにするものを考える。
3学期	1・2・3	C　消費生活・環境	・家庭生活と消費 ・商品の選択と購入 ・持続可能な社会	7 35	○	○	○	・商品を購入するときの生活情報の収集や活用の仕方を理解する。 ・店舗販売と無店舗販売をれぞれの特徴を理解する。 ・即時払い、前払い、後払いの特徴が分かる。 ・契約について理解し、消費トラブルについて理解する。 ・消費者を支える法律、制度、機関の必要性が理解できる。 ・消費行動が社会に与える影響を考えることができる。

評価の観点	・製作手順を理解し、製作を行っている。 ・基礎的な知識を理解している。 ・安全面を考慮し、班で協力して作業をすることができる。 ・自らの生活を振り返り、知識や技術を実践しようとしている。
評価の方法	・授業観察　、出席点 ・ノート、プリント ・定期考査、製作物 ・作品、器具等の使用方法